

新花巻図書館整備に係る市民意見交換会（リモート開催）

■日 時 令和3年1月28日（木） 18：30～20：30

■参加者 11人

（○生涯学習課 菊池）

それでは、お時間となりましたので早速ですが「新花巻図書館整備に関する意見交換会」リモート開催ということで始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

はじめに、本日のタイムスケジュールということで、最初に皆さまにお伝えしたいと思います。6時30分から開会いたしまして、現在タイムスケジュールの確認をしております。だいたい最初5分間くらい説明させていただきますが、そのあと新花巻図書館の整備についてということで、市川生涯学習部長の方から説明させていただきます。

だいたい35分間くらいの説明になろうかと思っております。説明につきましてはパワーポイントを使いまして、画面を進めながら説明させていただきます。その後7時10分ころからですが、意見交換をさせていただければなと思っております。自由に順番にと表示しておりますが、手挙げ機能というのがありますので、後で説明いたしますが、その順番で意見交換できればいいのかなと考えております。

それから、事前に質問をいただいておりますので、そちらを最初にお答えできればと考えております。

意見交換ですが、時間はおよそ1時間程度と考えておりますが、最大でも8時30分には終了したいと考えておりますのでご協力のほどお願いいたします。

なお、リモートの操作について若干ご説明をしたいと思います。今画面に表示してましたのがパソコンの操作となります。上段に表示してましたのが、皆さんの画面のおそらく下の方に表示されてると思っておりますけども、左の方から時間ですとか、カメラのON・OFFのボタン、マイクのON・OFFのボタン、真ん中の2つは今回はこちらの方で操作いたします。次は手のマークがありますが、こちらは手挙げのボタンになります。これを押しますと手挙げという形で、こちらの方に合図がくる仕組みとなっております。それからですがチャットということで、キーボードから質問等々入力していただくという機能があります。その隣に人のマークが2つ並んでいるものがありますが、こちらは参加者表示ということで、このボタンを押していただきますとパソコンですと、右側の方に今どのくらいの方が参加してるか表示になる、ということになっております。最後、赤いボタンですが切断ということで、こちら押されますとこの会議から抜けてしまいますので気を付けていただきたいと思います。

次にスマートフォンの操作になりますが、およそボタンの機能は一緒です。その他

操作というところに、先ほどのチャットボタンであったり、参加者表示のボタンが入っているという形になります。

最後です若干、注意事項申し上げてから説明に入りたいと思います。先ほども申しましたけども、質問などある時は「手挙げボタン」押ししていただきますと、こちらの方で分かる仕組みになっております。そしてマイクをONにしてしゃべっていただければなと思います。なお、参加者のマイクですがこちらの方でON・OFF操作する場合がありますので、ご了承願います。それから、チャットボタンから質問をいれていただくことも出来るようになっております。意見交換が終了、または途中で退席される場合ですけども、電話の受話器のようなボタンがありますが切断を押ししていただくということになります。間違えて退席、または回線の都合で突然切断してしまうということがあるかもしれませんが、その際は招待メールのリンクからもう一度参加をお願いいたします。以上が注意事項になります。

なお、進行してます私は生涯学習課の菊池と申します。よろしくお願ひいたします。

それでは、早速説明の方に入らせていただきます。新花巻図書館整備について、市川生涯学習部長の方から説明をさせていただきます。ただ今画面を切り替えます。

(○生涯学習部長)

みなさんこんばんは。花巻市役所生涯学習部の市川です。今日をご参加いただき、大変ありがとうございます。今回の市民意見交換会は、新しい図書館の建設に際して、市議会議員や教育委員をはじめ、社会教育委員、図書館協議会等の皆さんなどからの意見を踏まえ、これまで市で検討してきた状況と、昨年7月から10月にかけて開催した市民ワークショップについてご説明したいと考えております。当初の予定では、ワークショップ終了後、11月末から開催する予定でしたが、コロナウイルスの影響もありまして、延期となっております。今回このようにリモートで開催するということになったものです。ワークショップに参加いただいた皆さんも、今日ご出席されてますが、ワークショップの時の説明と重複する内容も多いですが、ご了承いただきたいと思います。

それではまず、新花巻図書館整備のこれまでの経緯をご説明いたします。現在の花巻図書館は、昭和48年の開館で、今年で築47年を迎えます。閲覧スペースは2階にあります。スペース不足、またエレベーターがないなど、利用しづらいという課題がありました。利用年齢層は、50代以上が約7割、利用頻度も月2・3回以上の方が約8割という状況であります。交通手段は自動車が76%、公共交通利用者は3%と少ないと、つまり自動車で行かなければいけない点、利用者が限られている点、など課題と捉えております。その中で生涯学習の拠点、市街地再生の核として、新しい図書館の整備が求められてきたものでございます。

そこで、平成23年12月には、公共的団体や図書館関係者、公募委員による「図書

館整備市民懇話会」を設置いたしまして、その段階でワークショップ等を行い、翌24年10月には、「花巻図書館への提言」というのを作成し提出いただきました。その提言に基づき、平成25年5月には、「花巻中央図書館基本計画」を策定いたしました。この計画は、花巻厚生病院跡地を整備候補地にしたもので、平成26年3月に花巻厚生病院跡地の土壌汚染が県から公表され、図書館整備が中断したものであります。

このような中、まちづくりを再検討して、平成28年6月には、市街地定住を促進し都市機能を誘導する「花巻市立地適正化計画」を定め、結果として花巻厚生病院跡地には総合花巻病院が移転したというのはご承知のとおりでございます。

平成28年には、24年に市民懇話会から出された「花巻図書館への提言」に基づき、新しい図書館整備に向けた構想を再構築して、パブリックコメント等を経て市民説明会を開催し、「新花巻図書館整備基本構想」を策定したというものでございます。

それでは、その基本構想の内容についてご説明します。基本構想の中では、基本方針として、前文で、本市は、宮沢賢治や萬鉄五郎をはじめとした、多くの先人を輩出。江戸時代の先人を顕彰した「鶴陰碑」に記された人々は、自らの研鑽に精進し、学術文化はもとより地域や産業の振興と発展、後継者の育成に努力。花巻には歴史的に学びの風土があり、この精神は次の世代に受け継いでいくべき。新しい図書館は、市民一人ひとりの生活や活動を支援することを基本的に考えながら、先人が育んできた「学びの精神」を受け継ぎ、図書館が次世代を担う子どもの読書活動を支援し豊かな心を育てる施設として、また情報を地域や産業の創造に結びつける施設として、まちや市民に活力と未来をもたらす図書館を目指して、として次の3つを定めております。

- ・郷土の歴史と独自性を大切にし、豊かな市民文化を創造する図書館
- ・すべての市民が親しみやすく使いやすい図書館
- ・暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点としての図書館

そして、整備方針として、①施設に関すること②蔵書資料に関すること③運営に関すること④サービスに関することに分類して、項目立てをしており、例えば①施設に関するもののうち、ユニバーサルデザインについては、「子どもから高齢者、障がい者、あらゆる利用者がバリアフリーで働きやすい、機能的、効率的な動線に配慮し、利便性や安全性を重視した施設とします。」と定めており、具体的な内容は、基本計画において示す予定としております。

次に建設場所の方針についてですが、基本構想の中では、利用者が利用しやすい場所で、交通アクセスがよく、わかりやすく、市全域から行きやすい場所で、十分な駐車場も確保できる場所。市街地再生に資する施設として、まちづくりや都市計画に整合した場所。市街地定住を促進し都市機能を誘導する「花巻市立地適正化計画」の「都市機能誘導区域内」、のちほどご説明しますが、その区域に整備し、近隣施設との連携、他施設との複合化など、民間との連携も含めて検討し、候補地を数か所選定したうえで、基

本計画において場所を定める。としております。

また、事業費についても、可能な限りコスト削減に努め、まちづくり総合計画や財政計画も踏まえ・建設後の運営費や図書購入費、職員体制などの経費も十分に考慮して、今後計画を進める、と示しております。

次に、整備候補地の検討状況について、ご説明します。整備候補地については、基本構想において示していた、花巻市立地適正化計画の都市機能誘導区域と申しましたが、図面の青い線内の区域になります。この区域内に建設する場合には、国の補助金が受けられる可能性が高く、その場合国の定めに基づき「都市再生整備計画」を提出すれば、最大で10億5千万の補助が可能というものです。

候補地を検討してきた、これまでの背景としては、①花巻市立地適性化計画では、都市機能誘導区域における事業として、まなび学園周辺への移転を検討していました。②新花巻図書館整備基本構想、平成29年8月策定です。これでは、建設場所に関する方針として、「都市機能誘導区域」に整備と決めました。③ですが、花巻市図書館複合施設等整備方針検討業務報告書「UR報告書」と書いておりますが、これは、独立行政法人「都市再生機構」に調査をお願いしたのですが、これにおいては、都市機能誘導区域内にある程度まとまった土地として「花巻駅東口周辺」と「まなび学園周辺」を挙げて候補地として検討した経緯がございます。

次に、新花巻図書館複合施設整備事業構想についてご説明します。この構想は、昨年1月29日に、市議会においてご説明し公表したのですが、花巻駅前のJR東日本が所有する土地、スポーツ用品店の敷地を50年間借りまして、新しい図書館と複合施設を建設する構想でした。図書館は市が所有しますが、賃貸住宅とテナントを併設したような建物として、その賃貸住宅とテナントは特定目的会社を設立し、それが所有するという構想でした。駅前の活性化、市街地定住人口の増加にも資するとの考えからこのような構想を提案しましたが、事業の具体化のためには、外部の専門家をお願いして調査する必要がございました。それで公表したものでございましたが、反対の意見が多数あったと認識しており、調査のための予算は計上しておりません。従いまして、具体的にはまだ全く決まっておりましたが、この賃貸住宅の併設については、市民の理解が得られないと考えておりまして、検討を進めることは現段階では考えていないものです。

次に、整備候補地の検討経過状況ですが、まず、花巻駅東口周辺、JR用地、スポーツ用品店敷地、についてであります。平成30年（2018）12月議会において、「花巻駅東口周辺のJR所有地を有力な候補地として、JR東日本と具体的な条件について協議する」方針を示しました。翌年（2019年）、12月には土地を賃貸借する方向で協力したいとのことから、賃貸借の条件を協議していることを市議会において答弁しており、翌年の1月末には、50年間の定期借地の方針を示したところございました。先ほど申し上げました、複合施設の構想についてです。これについては反対意見

があるということで、場所自体に反対の意見、まなび学園等の場所が望ましいという意見、土地を賃貸借することに反対の意見、また賃貸住宅との複合化に反対の意見がありました。そこで、場所としてはJR用地あるいはまなび学園周辺、賃貸住宅等の複合化あるいは図書館単独、土地の定期賃貸借あるいは土地を所有する、が課題となる中、現状としては、令和2年12月花巻市議会新花巻図書館整備特別委員会における報告を踏まえまして、図書館については大規模な複合施設ではなく、カフェを併設した図書館とし、敷地については土地を所有する方向でできないかということで、JR東日本盛岡支社は協議に応じる意向を示しているという状況であります。

次にまなび学園周辺につきましても検討しております。その中で、まなび学園周辺では先ほど申しましたURの報告書において、まなび学園は、耐震改修がされているが、老朽化が進んでおり、いずれ建替えが発生すること。総合花巻病院用地やまなび学園等を含めた土地活用のあり方が検討必要なこと。急傾斜地の崩壊区画が指定されており、高低差の改善、有効平場の確保など、また、交通アクセスの確保、歩道についても課題があるということ指摘されておまして、そこを後ほどご説明いたしますが、検討しているという状況です。

具体的に検討してきた候補地を図面で説明します。まずまなび学園の前に建設する場合です。候補地を検討する際の条件としましては、図書館の広さ、延べ床面積を仮に4,500㎡といたしまして、2階建てでできることを考えながら配置を検討してきたというものでございます。現在のまなび学園の場所、南側の駐車場と芝生広場の場所に整備した場合のものがこれとございまして、駐車場は花巻病院跡地に平面で設置するという案でございます。場所的には、花巻駅からは11.5分ほど、徒歩ですね。先ほど申しました2階建てで建設することはできます。駐車場もこれだけ整備できます、というものでございます。開館見込みはこの計画で行きますと、令和8年4月という予定でございます。

次の図面ですが、先ほどもURの報告書で課題と申しましたが、まなび学園は今後20年程度は活用する、活用できる見込みですが、まなび学園も体育館も古くなってきますので、この施設を解体した後のこの場所の活用を考えますと、19ページのような状況になるのはどうだろうということで、そのあたりも検討したものでございます。

次はまなび学園の場所の第2案です。まなび学園の今の体育館の場所なんですが、体育館を壊しまして、営林署跡地と体育館の場所につくった場合はどうだろうかというものになります。これも2階建てとこのようなイメージになります。大きい駐車場は病院跡地になります。ここも駅から徒歩11分ほど、2階建て、駐車スペースもとれる。ここに建てた場合も8年4月に開館というような予定であります。ただこの場合、体育館を壊さなければならないという課題がまた新たに生じます。体育館は利用率が高くて、代替えの施設を、体育館90%以上の利用率となっておりますので、どこかに建てなければならないのではないかと考えております。

次に、総合花巻病院跡地に建てた場合です。総合花巻病院の跡地に建てますと、北側の方に建てることを想定しています。南側には今の建物があるんですが、地下に構造物があるので、それを撤去するとくぼみになりまして、建物自体を南側に建設するのは厳しいということで、このような配置を考えているものです。これも2階建、駅からの距離がこのようになっておりますし、2階建てにした場合、駐車場もこのようになるというものでございます。

次に、道路について課題があると申しましたが、まなび学園周辺に建設する場合の道路についてご説明します。まなび学園周辺に図書館を整備する場合については、駅方面からの徒歩や自転車での利用を考えると、その安全確保の観点から、大通りから東側に向かう道路の歩道整備や拡幅が必要です。具体的には、都市計画道路城内大通り線、黄色のラインです。万代橋から合同庁舎への直線道路が計画上はございます。まだない道路です。この道路は、新しい橋梁の建設や交差点改良などの整備が必要となることから、この道路を建設した場合、現在使われているファミリーマートから幸橋までの道の北側の道路がうまく使えなくなり交差点の交通処理や橋梁前後の道路勾配に課題があり、事業費も膨大で現実的でなく、整備は困難と考えております。黄色に変わるものとして、現在の市道城内大通り1丁目線、赤い線ですね、大通りコンビニ交差点から幸橋を通過して合同庁舎への道路です。これに歩道を整備する方法が現実的と考えていまして、ただしこれを整備する場合8年程度かかると見込んでおりまして、図書館の整備より道路の方が遅れる可能性が高いというものでございます。

次に、駅東口です。東口のJR用地ですが、これについては、スポーツ用品店の場所に建てて、今の多目的広場に芝生広場、公園をつくりたいという案でございます。ただなはんプラザの東側の駐車場は、現状とほぼ同じように平面の駐車場ですが、南側の方は立体駐車場にしたいという計画です。駐車台数も立体にはなりますが可能です。ただこれはJRの用地ですので、これについて合意する必要があるとございます。

駐車場につきましても、立体駐車場は高齢者等が使いづらいというお話、ご意見をいただいておりますが、1階を高齢者、障がい者、子ども連れ用として、幅の広い、柱の間に通常3台入れるところを2台の駐車にするとかですね、あと駐輪場も1階に設置する、などの方法があるのではないかと考えております。

そのほかにこれまで検討してきた場所がございます。先ほど体育館と営林署跡地と申しましたが、まなび学園周辺の営林署跡地だけでできないかということも検討しておりますが、やはりスペースが狭いという状況です。もう一つは、花巻駅南駐車場、先ほどのなはんプラザ東側の駐車場に建設できないかということも検討してきましたが、駅やホテルに近い駐車場でありまして、これを無くすることはできないと考えております。仮に1階を駐車場にして2階以上を図書館とする場合も、計算しましたが、30台ほどしか確保できないこと、乳幼児連れや高齢者等を考えたとき、やはり1階から図書館にしたいという考えから、この場所は難しいと考えております。

図書館のランニングコストについても現在検討しておりますが、今の花巻図書館の令和2年度の予算では、約8300万円ほどです。新しい図書館を一関図書館等を参考に試算いたしますと、約2億弱、年間経費がかかると計算することができます。ただこれは今後精査してまいりたいと考えているものです。

次に、としょかんワークショップについてご説明いたします。「としょかんワークショップみんなではなそう未来の図書館」というワークショップを開催いたしました。令和2年の3月議会においては、図書館の計画策定のために、シンポジウムやワークショップを開催したいと公表していましたが、コロナウイルスの影響もありまして、シンポジウムは開催を断念しました。ワークショップも少し遅れましたが、7月から10月に開催しました。新しい図書館の基本構想は定めたわけですが、具体的な基本計画をつくるためにアイデアを皆さんからいただきたいということで開催しました。

高校生・20代編につきましては、7/25、8/8に開催しまして、富士大学経済学部教授の早川光彦先生にアドバイザーとしてご指導いただきまして、お話しをいただき、班ごとにテーマを設定し発表してもらいました。「本・資料」については、最新の研究論文が欲しい、大学パンフ、就活資料、本以外など、若者らしい意見が出たと考えております。「サービス」は、w i - f i 完備、電子書籍、話しやすい司書。「環境・空間」については、一人でいれる空間と多人数でいれる空間、飲食可能、子どもとのびのびできる空間。「場所」についても、駅近く、駐輪場がほしい、電車・自転車・バスアクセスなどの意見があったところです。

次に一般編です。一般編として8月から10月まで開催しました。一般公募の方12名、公募された方皆さまです。そして各関係団体から10名、3回目からは高校生・20代に参加した皆さんにもご参加いただきました。

図書館のワークショップでは、グループでみんなが求める理想とする図書館を考えてもらいました。

第4回で新花巻図書館整備基本構想の整備方針に基づいて、サービス計画内容を項目ごとに分類し意見をいただきました。「蔵書資料に関すること」の例としては、実用的な本、ライトノベルや雑誌など世代ニーズに合う図書、利用者が選書・本を紹介する、観光や産業・歴史等市の情報を収集する、旅行者が偉人をワンストップで知ることができる、ゲームやマンガ、読み上げ機能や拡大機能が欲しい。「施設に関すること」については、Wi-Fi、カフェスペース、高齢者や身がいがい者等にも対応、緑を感じる、ロボットやタブレット等の最先端技術、SLが見えるスポット、賢治の作品をモチーフとした花巻らしい図書館、などの意見が出されました。

第5回のワークショップでは、これまで検討したサービスを実現可能な立地場所はどこでしょうかということで、これまでの市が検討してきた場所も説明しながら、まなび学園周辺、駅周辺、その他含めてメリット・デメリットを検討していただきました。

まなび学園周辺のメリットとしては、「花巻小学校・花巻城跡が近い」「まなび学園やこどもセンターなどと連携が図れる」「緑が多く自然を感じられる」「静かで過ごしやすい」。デメリットとしては「周辺が暗く夜間が心配」「道路が狭く入り組んでいる」「バス利用が難しい」。

駅東口周辺のメリットは、「若い人の行動範囲にある」「SL 銀河が見られる」「夜も周辺が明るい」「観光客、車のない人も利用できる」デメリットとしては、「駐車場が狭い」「立体駐車場が怖いという人もいる」「まなび学園と比べて周辺に緑が少ない」「駐車場と図書館が離れている」等の意見が出ましたし、まなび学園周辺、駅周辺以外の提案としては、イトーヨーカ堂東側空き店舗、駅西口方面（材木町公園、北東金属グラウンドなど）、東公園（新興製作所跡地）、花巻市交流会館などの意見が出されたところです。

第5回に図書館ワークショップ終了後に建設候補地についてアンケートをとりました。第5回目には32名の方が参加されておりますが、28名の方からご回答いただきました。回答者の年代ですが、30代が少し少ないですが、おおむね各年代がそろっていると言えますし、居住地域は、花巻地域が多くなっています。「図書館の建設場所はどこが望ましいかお聞かせください。一つだけ選択。」ということでお尋ねしたところ、まなび学園周辺では、まなび学園体育館の場所が6名、まなび学園前が2名、花巻営林署跡地が1名、総合花巻病院跡地が1名、ということでありまして、全部で10名の方が、まなび学園周辺を選びました。花巻駅周辺地域では、JR用地（スポーツ用品店敷地）が11名、花巻駅南駐車場が3名ということであり、合計14名の方が花巻駅周辺を選んでおり、その他が4名ということになります。

なお、市でJR花巻駅に近接した複合施設の構想を示していた経緯がございますので、JR花巻駅そばのスポーツ用品店敷地に絞った質問もいたしました。「スポーツ用品店敷地について市民から反対意見があります」ということをご説明しつつ、「花巻駅周辺のこの場所についてご意見をお聞かせください」という質問をしました。その回答といたしましては、「JR用地はそもそも反対」という方が5人、「JR用地は50年の定期賃貸借でも賛成」という方が12人、「JR用地は良いが、定期賃貸借に反対」である方が10人で、この10名の方の内訳をみますと、「市が土地を所有することとすれば良い」が6人、「分からない」が2人、「その他」「無回答」が1人ずつということになります。

図書館の施設形態をお尋ねしたところ、「複合図書館が良い」が18人、「単独図書館が良い」が9人、「その他」が1人です。「複合」とした場合に必要な施設については、「カフェ」が15人で多いお答えでありまして、市が複合施設構想として1月にお示した賃貸住宅の併設という案につきましては、今回のアンケート結果では1人もいらっしゃらなかったということになります。

ワークショップは市民の皆様新しい図書館にいろいろな観点からご検討いただく機会となり、有益なご意見をいただく機会になったと考えております。今回ワークショ

ップのアンケートがすべてというわけではなく、また市民の皆さんと意見交換しながら、場所についても検討して深めていきたいと考えております。本来ですと11月から市民との意見交換会を開催するとしておりましたが、コロナウイルスの影響もありまして、ウェブによる開催を本日と1/31、2/6に行います。また、各種団体等から要望に応じて随時意見交換も開催しております。関係団体との意見交換もしておりますが、新花巻図書館を考える会、花巻商工会議所、社会教育委員の皆さん等と意見交換をしてきたところでもあります。そのような中で、基本計画の素案ができれば3月・4月に市民参画手続きに入る計画ではありましたが、既に数か月遅れている状況であります。それが十分な市民の皆さんのコンセンサスが得られないということであれば、3月・4月にはこだわるものではなく、十分に皆さんの意見を聞きながら試案をつくりまして、成案化していくというふうに進めたいと考えております。

(○生涯学習課 菊池)

はい、ありがとうございました。

以上で、説明というところだったんですが、これからの時間は意見交換ということで進めさせていただきたいと思っております。

意見交換の順番なんですが、一番最初に申し上げましたが質問を一ついただいておりますので、それをお答えしてから皆さんに自由に意見交換していただこうかなと思っております。

実際に本日ご参加いただいております、お名前を直接表示いただいておりますので、お名前を申し上げます。私の方で質問事項を読み上げまして、そして回答するという形にさせていただきます。

まず1つ目が、平成23年の図書館「基本方針」は模範的で綺麗な言葉だが、花巻の特色やまちづくりのビジョンが見られず、花巻ならではの独自性や具体性を市民がイメージできないと考えます。基本方針から見直すべきと思うが、市ではどう考えているのか。が1点目です。

2点目です。延べ面積を現図書館の4倍近くの規模で設計を検討しているよう（一関図書館がモデル）だが、その規模の根拠を説明していただきたい。が2点目です。

3点目です。新図書館完成まで5年～10年待つのであれば今の子どもや若者が気の毒に思えます。しかし急いで建ててもいい結果にならないのではないかと思います。施設が分散されて、なはんプラザや交流会館（旧空港）のように利用が少ない施設があります。なはんプラザ（全フロア）に図書館機能を移転して、10年後以降に新図書館を開設する案も検討に加えていただきたい。その間に市民や職員に大型図書館を使用する意識や教育を行えると思っております。が3点目になります。

4点目です。市のリノベーションまちづくり構想オンライン会議ではZoomを使用しました。一般的にZoomが慣れている人が多いのに、今回はMicrosoft Teamsをわざわざ使

う理由を説明していただきたいです。参加が難しい方が多いと思われま。が4点目です。以上4点の質問を事前にいただいておりますので、こちらの回答から申し上げたいと思います。

もし、補足がありましたらマイクをオンにして補足いただければと思います。

(○参加者1)

事前に質問を出したんですけど、これからどのあたりから検討されるかなと、基本方針ですね。そこから花巻独自、例えばほかの自治体、遠野とか北上とは違う花巻をイメージできるような基本方針を出してほしいなという意味で出しました。あと、今からですと5年10年かかると思うんですが、今の規模が、延面積からすると、図書館ワークショップ出た時の延床面積が3.5倍から4倍の案になってましたが、あまりにも違いすぎるので急にそういうのがあってもなかなか職員さんとか市民がついていけないかなと思って、その間に、クッションとして、なはんプラザのような所でちょっと広いところに移転して、その間に花巻の図書館というの意識というか、そういうのを、市民なり職員さんが教育とかそういう人材を育てる機会を経てからつくった方がいいんじゃないかなという意味で質問しました。以上です。

(○生涯学習部長)

はい。ありがとうございます。その部分のお答えと言いますか、少しご説明いたします。花巻ならではの独自性ということですね、独自性については例えば賢治とかです。光太郎、あるいは萬とか新渡戸とかあります。一番はやはり宮沢賢治だろうと思うんですが、宮沢賢治とかそういう個々のイメージを導入するというのは偏ってしまうんじゃないか。またそのように一つに絞るのではなくて、基本構想でそのように書いてるんですけども、先人と学びの精神を活かしつつ、花巻の風土、歴史、文化、というものがあって賢治も生まれ、光太郎が来たということだと思っうんですね、その花巻の風土や歴史、文化を統括する知の拠点としての、図書館。というものこそが花巻らしさではないかということで、そのように方針で示したつもりであります。ただ、具体性に欠けると言われる意見もわかります。基本計画の中でもうちょっとその、例えば賢治についてはどのようにやるとかですね。賢治の蔵書についてはどの程度収集をするとかですね、その具体化は示していきたいというふうに考えて、おります。あと延床面積です。4,500平米っていうのは確かに大きいという風には思いますが、参考にしてるように一関図書館は4,700ぐらいありますし、平成23年から26年にかけてつくりました前の計画、花巻中央図書館の計画がありました。それもワークショップなどで市民の皆さんの意見を聞いてつくった計画で、設計に入るとこまで進んでましたが、中断したものです。その計画の段階で図書館は4,300から4,600平米の延床面積を想定してます。具体的に見ますと、閲覧室、開架のスペースが2,000から2,300くら

い。というのを想定してますし、閉架の書庫も800かなり大きいですね。今の図書館は全体で1,300ぐらいですので、閲覧、開架だけでもほぼ倍に近く、その規模で検討してきた経緯がありまして、それを踏まえまして、あくまでもまだ決まったものではありません。4,500平米程度をつくる場合どうだろうということで花巻市としてその大きさを想定したものでございます。完成までに10年かかるので間にクッションということですけども前の図書館計画を、つまり23年から検討してきてできないわけですね。結構時間はかかります。それを将来を見据えながら検討してつくっていくというものなので、一端途中で作るということになりますと、その分また手間もかかります。なはんプラザの話もありましたが、なはんプラザは利用されていないわけではなくてですね、ちなみにCOMZホールは60%~70%も使われてますし、会議室は80%、プレイスタジオというダンスなどができる場所は100%の状況ですのでそこにつくることも厳しい、というふうに考えておりますし、なはんプラザを改修するとなりますと、今図書館の荷重に耐えられる状況にはなっていないで、事務室から一般書庫に変えるだけでも2.7倍の強度が必要になります。閉架書庫等になりますと4倍以上必要になるっていうことですね、補強や増設、増築が必要になりますので、なはんプラザを利用するということは現実的ではないというふうに考えております。3までは以上で、4番のなぜZoomを使わないかっていう件については担当に説明させます。

(○生涯学習課菊池)

4番の今回なぜTeamsなのかという件につきましては私からお答えします。

今回皆さまにMicrosoft Teamsでご参加いただいております。花巻市ではアプリケーションの有料契約しておりまして、途中で途切れることなく長時間の会議などで利用できるということになっております。今回最大2時間を予定しておりましたので、Teamsでのご参加をお願いしたというものになります。ちなみに、市役所庁内においても情報政策の担当からも長時間のものについてはTeamsの利用を推奨されております。

今回は、こちらの都合に合わせていただいたということで大変申し訳ございませんが、ご理解いただければと思います。よろしく願いいたします。

はい、ということで以上4点、質問受けておりました件、よろしいでしょうか。

(○参加者1)

わかりました。ただ私気になる方針のところなんですが、花巻市の方針で賢治まちづくり課っていうのがありますよね。花巻市として賢治さんの香りあふれるまちを目指してるのであれば、図書館の方針もそれに整合したような、合わせたようなのをやったほうがいいと思います。賢治さんだけを尊重するんじゃなくて、イメージとしてあげて、あといろんなたくさん私の私も偉人先人の方いるのを知ってるんで、その方もやった方がいいと思うんですが、市の方針がきちんと賢治まちづくり課とかあれば、

それに合わせたような賢治さん、花巻のまちづくりと、図書館の目指すまちづくりと連動してやった方がいいんじゃないかなと思ってやっています。ていうことを方針に加えて欲しいなと思いました。以上です。

(○生涯学習部長)

はい、ありがとうございます。先ほど申し上げましたとおり賢治を入れないわけにはいかないと思いますので、その宮沢賢治に関する部分は重点的な項目で何かしら書いていくことになろうかなと思います。ただその賢治だけではなくて、賢治を育んだ花巻の風土なりその歴史的な学びの精神みたいなものも大切にしていきたいなところ、うところは構想の中の方針で書いておりますので、ご理解をいただければというふうに思います。ありがとうございます。

(○参加者1)

ありがとうございました。

(○生涯学習課 菊池)

ここからは自由に意見交換という時間にしたいと思います。ご質問あったらマイクをオンにさせていただいてご発言をお願いします。手が挙がっておりますので、マイクをオンにしてご発言ください。お願いします。

(○参加者2)

聞こえますか。新花巻図書館丸ごと市民会議の事務局をやっておりますけども、原則的なことで2点ばかりお尋ねしますけれども、その前にですね市川さんの今の説明ちょっと、長くてちょっと聞き漏らしたのかなという点があるんですけど、一つ確認ですけれども、いわゆる住宅付図書館の駅前立地という去年1月の構想なんですけれども、これについてはあれですか駅前と場所についてはまだペンディング状態だけれども、住宅付図書館というのは、市役所として正式に白紙撤回したということでもいいですか、理解して。

(○生涯学習部長)

賃貸住宅を併設した複合施設の建設については考えていませんということです。

(○参加者2)

いわゆる、世間で言う白紙撤回と理解していいですね。それを前提にしてですね3点ばかり聞くんですけども、少し図書館に絞ったっていうよりも、図書館を含めたですね、市役所プロジェクトのですね、政策決定過程について、図書館を、今回の図書館

構想を基にですね、聞きたいんですけども、さっきもワークショップでですね住宅付図書館に賛成だというのは、0%であったというデータがありましたけれども、つまり図書館に限らずですね、そういった市民感覚、を吸収した上でですね市の計画は立案されるわけですけども、市川さんや現場の職員の方ですね現場感覚として、住宅つき図書館なんてのはやっぱり市民の方ですね、大方の予想から相当かけ離れているという現場感覚はなかったんですか。当初、最初から。現場感覚といいますのは、ワークショップの結果パーセンテージで住宅付はゼロという数字はある意味じゃ驚異的な数字ですけども、市民は住宅付に反対だという結果がアンケートで出たんですね。それを政策立案する当初において、市の職員の現場にですね、その市民感覚というのはどういう風に把握し、出来たのか出来なかったのかですねそのうえで、そう理解した上で、あえてですよ住宅付図書館、駅前立地という構想を出したのかどうかですねいわゆるそういう政策立案過程というのかな、決定過程についてね見えないんですよ。市長は透明性と言ってますけども、そういういかに透明化した形でですね、今回の図書館構想が出てきたのか見えないんであえて聞いたんですけどもどうですか。

(○生涯学習部長)

方針につきましては、我々の今までお話ししている中では、定住人口の増加とかですね、駅前の活性化とか、市街地の活性化とか、そういうのも含めまして、検討してきたわけでありまして、都市部においては、図書館の上に住宅がついてるという例があります。そういうものを含めまして、検討した中で、まず構想として公表した。というものです。ただ、反対が多かったというふうに、最初から反対が多いかどうかまでは、予想できなかったのかっていうようなご意見であれば、そこはご指摘は受けませんが、そういう面もありますし、現にいい案だと言ってくれた人もあります。匿名で電話とかで、いい案だという方もありました。その中で、まず構想をお示しして、皆さんからご意見聞きたいというふうにしたものでありました。

(○参加者2)

そういうことだとは思いますが、それでですねもう1点だけお伺いしますが、そういう中でですね1月29日にですね、住宅付図書館構想が出てきたわけですけども、その？前後をしてですね、去年1年間はコロナに翻弄された一年だったと。ということもですね、いわゆる今言ったような、定住促進、市街地活性化、つまりにぎわい創出は、一つの眼目としてですね、図書館構想が出てきた、それは理解するとしてですよ。この1年間コロナの中でですね、いわゆるニューノーマル、新しい生活様式というものがですね、広がってですね、その中で図書館についてもですね、賑わい創出というような観点の図書館構想はゼロベースでですね、考え直さなきゃいかんという、図書館プロの意見もあったんですけども。市のほうとしては、コロナ禍における図

書館の在り方についてですね、何か内部で議論をされましたか。

(○生涯学習部長)

ワークショップの中でもご意見いただきましたね。いろいろご意見いただきましたし、我々も考えてはおります。例えば、このままの状況が続くものであれば、やはり本をですね、貸し借りという図書館の在り方っていうのを考え直さなければいけないのではないかとこのことがあります。大きく言えばそういうことなんですけども、具体的に言えば、図書を電子化するとかですね、行かなくても借りられる方法はないとかですね、そのような方向も視野に入れながら、今検討しているというところなんです。まだちょっとそのワクチンが接種されるようになればどうなるのかっていう、その辺りは我々はわからないところがあります。そういう状況も見ながら多分変更していく、あるいは検討を変えていくっていう必要があるかもしれませんが、現段階で考えられることは、検討している状況です。

(○参加者2)

大体わかったんですけども、一つだけ言えばですね。ワクチンはワクチンなんです。いわゆるですね、政策決定過程における議論の在り方ですね。色んな要素がある。特に今感染症、あるいはコロナの感染症の在り方も含めてね、色々体裁っていうかな、議論の在り方、そういうものがですね今後のですね自治体の政策決定過程に必要なようになってくるんだということで、いわゆる原則論として意見を述べたわけで、その辺はぜひとも視野に入れてですね、次のステップに踏み出していきたいと申して終わります。

(○生涯学習部長)

ありがとうございます。

(○生涯学習課 菊池)

次に質問ある方どうぞ。

(○参加者3)

よろしいですか。大体聞いたんですけども、私思うのは、現実を考えて、人口が岩手も減ってるし、花巻も北上も減っています。その中であえて言うけども、図書館に関してはね、私はああしようこうしようと考えなくていいと思います。まず人口は減ってるんだよと。私は、機能的に使えれば良いとまず考えております。それから、なぜ花巻の独自性にそんなにこだわるんですかと。現状は花巻は宮沢賢治、のゆかりの地だというのはもうすでに全国の方が知っております。そのことにこだわる必要は

ありません。そういうふうなことで、私は機能的で使いやすいところがいいというふうに考えております。あと、大事なのは同時にですね、先ほどの説明で新花巻図書館が維持費が8千万円かかって、一関のようにすると2億かかるという、そうであれば、相当の額にして使っていこうとするのであれば、そういった賃貸を契約するとか、そんなに悪い考えじゃない。盛岡ではアイーナとマリオスが駅前にあって、劇場も兼ねてるし、公民館も兼ねてるし、図書館も兼ねてます。すべて兼ねて独自の図書館だけの機能というわけではありません。その辺、図書館は目立つわけでもないけど、便利だけの利用が増えている。そういう新しい発想していくべきじゃないでしょうか。そう私はですね、さっき賃貸に賛成している人は誰もいなかったと。新しいことをやるとねみんな反対するんですよ。なんだって反対が多いです。みんな反対するからやめましょうと、そういうことじゃなくてね、これから時代が変わってくんだからその事に対応したことをね、そのとおり判断するべきだと思いますよ。私はそう思ったので、去年上田さんが発表したときに別にそれでいいんじゃないかなと私は思ったんですがなぜか反対が出たということですね。すいませんもう一つ言いたいのは、文化会館ってというのが花巻にあって古くて不便だと思うんですよ。ああいうものをまなび学園とかの後に持ってくればいいんだし、図書館は若い人も使える、年寄りも使える、そういう機能的につくっていいのかと思いますよ。紫波町だって、駅前に図書館を持ってきたらコンビニ入れたりいろんな機能を持たせてます。病院跡地に文化会館を持ってきたら、そういうふうな複合的に使える図書館の機能も使えるとか、そういう風にしてしまってもいいんだかもしれませんけども、結論は、駅前にもってきたらそんなに悪くはないと思っております。あと皆さんの意見を聞きたいです。以上です。

(○生涯学習部長)

はい、ありがとうございます。ご意見として承ることでよろしいですよ。いろいろ、ありがとうございます。

(○生涯学習課 菊池)

ありがとうございました。それでは続きましてどなたかご質問、ご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。手が挙がっておりますので、お願いします。

(○参加者1)

すみません、先ほどののは事前にメールで質問だったので取上げていただけたと思わなかったんで、ちょっとあれしたんですけど。質問というか意見なんですけど、私前から花巻市の問題として、例えばいろんな講座やイベント教室の情報を集約した情報発信センターのようなものが花巻ないんじゃないかというのを前から提案してます。例えば、北上でいえば駅前の生涯学習センターおでんせでしたっけ。あと紫波図書館

の情報発信センターとかあるんですが、花巻の場合は、ここに行けばいろんなそういう情報が目に入るというか手に入るっていうところがないと思ってます。例えば、イトーヨーカ堂の情報センター行っても中途半端だし、まなび学園に行ってもない。新しい図書館ができる前でもいいので、ここに行けば、情報が手に入るっていうのをつくっていただきたいと。私の場合はもう北上行ったり紫波に行ってから、いろんなサークルとか語学講座に行ってるんですよ。花巻に行ってもなかなか見つからないんで、北上とか紫波町とか盛岡に行って初めて情報得てそっちのほうに行くという。花巻から外に出ちゃうんですね。どうしても。花巻ほかの地域から花巻に来ようとするとなかなかその文化的な情報がわからないっていうか、そういうのをつくってほしいと、新しい図書館ができる前にそういうものをつくってほしいというのがあります。あとは、私図書館ワークショップのメンバーだったんですけど、その前の高校生とか若い方のワークショップも見学したんですが、1番最後に早川先生、アドバイザーの方が、出たアイディア、意見で今できることは明日からしてくださいって図書館側の方におっしゃってたんですね。だから、今できることがいっぱいあると思うので、それを実践してほしいなど。今花巻図書館ちょっとは変わったような気がするんですけど、新しい図書館ができるまで待つんじゃなくて今できることはやってほしいなど、サービスとかいろんなことをしてほしいというのが希望あります。意見というか、そういう感じです。以上です。

(○生涯学習部長)

ありがとうございます。ご意見として承ります。ありがとうございます。

(○生涯学習課 菊池)

ありがとうございました。それでは続けてご質問、ご意見がある方手上げボタンを押していただければと思います。どなたかありませんでしょうか。手が挙がりませんでしたので、お願いします。

(○参加者4)

聞こえますか。はい。私は10月まで開催されたワークショップに参加をいたしました。ワークショップ終了後11月12月1月とまず3か月経過をしているわけです。この3か月間に、図書館の整備事業、どの辺の進捗、前に進んでるのかっていうその状況を、かいつまんでお聞きしたいです。何か前に向かって進んでますか。

(○生涯学習部長)

基本計画をつくりたいということでワークショップを開いたわけですが、基本計画のその試案をつくることで、早川先生のアドバイスをもらいながら試案の原案み

たいなものを作成しているという段階です。今後これをもう少し専門的なご意見を聞いたりして、試案を固めたい、場所についてはまだ意見交換等をしながら決めていかないとと思っておりますが、場所以外の部分で図書館がどうあるべきだっといういろんなアイデアをワークショップでいただいたものを整理して、試案をつくりつつあるという状況です。

(○参加者4)

いいですか、しゃべって。はい。既に具体的な基本計画づくりに向けて早川さんのアドバイスを得ながら、着手したというふうに理解しています。何と言ったらいいかな章立てと言ったらいいか、プロットと言ったらいいのか、サマリーと言ったらいいかわかりませんが、どういう構成になるかっていう枠組みのようなものはもう、ほぼほぼ出来てるんですか。

(○生涯学習部長)

できてはいるんですけども、見直しを色々している、例えば先ほどご指摘いただいたコロナウイルス等の影響をどの程度書くべきかとかですね、どういう風に入れるべきか。大体の構想は基本構想に基づいて、それを具体化して書いているという状況ですが、ちょっと組み替えたりとかですね、その辺りを今検討しているところです。

(○参加者4)

もう少しだけ発言させてください。今日はTeamsを使って、参加者の方今現在11名の方が参加していらっしゃるようですが、私はもう少し多いのかなと思っておりましたが、初めてのことでありますから、このくらい的人数なのかなと今思っておりますけども、案外とですね、若い人たちの図書館に対する関心は、予想より低いような気がしています。若い人たちに多分長く使ってもらう施設になるんでしょうから、図書館整備事業にですね、もう少し興味とか関心を持ってほしいと思っています。その方法の一つとしてですね、先ほど部長から補足していただきましたが、具体的な計画づくりにも着手し始まっているという、そういったニュースをですね、ニュースレターのような感じで、1か月に1回でも結構だと思いますし、できれば1か月に2回くらいですね、小っちゃいことでもいいですから、少しずつ前に進んでるっていうような情報を、そうですね生涯学習課から発信してもらおうといいのかなと思っています。2か月も3か月もですね、やっていることがなかなか見えないと不安になってしまいますのでね。そういうものも一つ検討していただければなと思いました。もう一つだけお聞きしますが、今日はそちらのほうにプロジェクトチームのメンバーは勢ぞろいしてるんですか。

(○生涯学習部長)

全てではありませんが、準備はしております。

(○参加者 4)

なかなかプロジェクトチームのメンバーの方でも顔をみることがない方がいらっ
しゃいますのでね、できるだけこういう機会をとらえて、統括マネージャーの副市長
の方ともこういう場を通じてですね、色々やりとりできればいいのかなあとと思ってま
すし、プロジェクトチームに司書の方入ってないんですよ。

(○生涯学習部長)

図書館司書ですか。資格を持った職員が入ってます。

(○参加者 4)

やっぱり図書館で実際に業務に当たっている現場の人って司書の方たちでしょう。
突飛な話をしますが、自衛隊と防衛相みたいな関係ですね、部長とか課長とか一生
懸命働かれています、自衛官というわけではありませんが現場の司書の人達ともです
ね、いろいろ話ができればなと思っておりますので司書の方も顔を見たいと思いま
すので、よろしくお願いします。今日は以上です。

(○生涯学習部長)

ありがとうございます。確かに、進み具合がわからないというのもせつかくワーク
ショップ等で参加いただいた皆さんの不安なところもあるでしょうし、あの時若い人
達たくさん参加していただいて、その方々また、興味を持って参加していただいたの
に忘れられてしまうんじゃないかっていう心配もありますので、今のご意見を参考に
させていただきたいと思っておりますし、ありがとうございました。

(○生涯学習課 菊池)

大変ありがとうございました。続きまして、ご質問ご意見ある方どうぞ手上げボタ
ンをお願いします。手を挙げていただきました。よろしくお願いいたします。

(○参加者 5)

みなさん聞こえてますでしょうか。みなさんお疲れ様です。ちょっと1点確認だつた
んですけども、駅前の今のタケダスポーツのところ、に図書館を移すことが今1番有力
なところなんでしょうか。ちょっと、確定なのかというところ、有力なのかという
ところでちょっと確認させてください。

(○生涯学習部長)

場所はまだ決まっているものではなくて、現段階での候補地としてお示したのは今日の4案です。まなび学園周辺といたしまして、まなび学園の前、体育館の場所、総合花巻病院の跡地、あと駅のJR東日本の所有地のスポーツ用品店、この4か所を候補地としているという段階で、決まったものではございません。

(○参加者5)

ありがとうございます。それでなんですけれども、図書館を建てる、新しく建てるに当たってなんですけれども、年齢層の例えばターゲット層とかって市の方でちょっと決まっているのか。というところだけちょっと確認させていただければと思います。

(○生涯学習部長)

はい。ターゲットというのはですね、絞った形で年齢層、例えば若い人だけとかですね、50歳～60歳というふうに想定はしていません。言うとすれば全市民ということです。高齢者から障がい者から皆さんに来てほしい。皆さんが使えるもの、であるべきだということです。1番最初に課題、現在の図書館の課題ってということでお話をしましたが、2階の閲覧室ですけれどもエレベーターもない、また公共交通機関が、ない、自動車でないといけないし、あるいは歩いていく、近くの人しか行けない。あと年齢層も高くなってる、そういうところってある課題だろうと思います。若い人から高齢者、いろんな支障がある方も使える図書館を目指したいと考えています。

(○参加者5)

ありがとうございます。全年齢対象で、考えているのは良いことだなあとありますが、カフェを隣接するというに当たって、多分若い人が増えていくと私は感じて、いるんですね。そのときに私の中で今の中の話の中であると若い人達が集まるのかなと、今考えている状況でして、私の意見としては、駅前のところは今のイメージであればすごく望ましいのかなという考えではいるんですが、例えばなんですけれども、今現状の図書館の例えば利用している年齢層例えば多いところの年齢層ってエビデンス取れてるのかなというところなんですけれども、ちょっとその辺おわかりになりますか。

(○生涯学習部長)

今の花巻図書館を利用している年齢層、もうちょっと細かい資料もありますけれども、1番最初にお話ししたので、利用年齢層50代以上が7割です。70代以上は25%、60代以上は29%。50代は15%という状況です。今ご覧いただけますか。これが年齢別の貸出人数でありまして、このように中・高、19歳～22歳、23歳～29歳あたりが低いと

いうふうになっております。

(○参加者5)

わかりました。ありがとうございます。先ほどの資料の中で、なんですかね、ラノベとかですね、ちょっと若い人中心に集めたいのかなと思う内容図書館に追加する資料とかもあったので、その中の若い人達を集めたいなというところではあるとは思いますが、カフェを隣接するあたりって、70代60代も多分減ってくると思うんですけど、その中で私としては、ターゲットの年齢を絞るべきかなとちょっと考えておまして、例えばその未来ある小中高校生の年代、私としてはサービスの対象を絞って行って、その方達は将来につれてくにあたって、自分たちは多分大きくなって、子どもをつくって、その子どもの年代まで、図書館ってこういうところだよ楽しいよっていうところまで目指していったらと思います。これただの意見として、質問ばかりで申し訳ないんですが、これで以上です。すみません、ありがとうございました。

(○生涯学習部長)

ありがとうございました。もちろんわかります。高齢者は使わないわけではないですし、若い人達に使ってほしい。これ見ますと例えば30代～40代の男性とか少ないですよ。今の図書館は、もうちょっとビジネスとかですねそういうビジネスマンも使えるような図書館というのが多くなっています。そういうものであるべきだと思いますし、中学生や高校生もですね、もっと来てもらえる図書館に、したいと考えています。ありがとうございます。ご意見として承ります。

(○生涯学習課 菊池)

続きましてご意見等ある方手上げをお願いします。

(○参加者1)

すいません。何度もすいません。これ質問なんですが、二つあるんですけど先ほど見てテーマとか、そういうもの特にこだわらなくてもいいんじゃないかという意見もあったと思うんですが、私も、周りに聞くと花巻市の方で図書館に関心がある方って少ないような気がします。はっきり言えばどうでもいいような感じで、ここに集まっている方もすごい図書館に興味があったり思い入れがある方が、一部集まってやっける感じで花巻市全体としてはそんなに市民の関心がないのではないかなと想像してるんですけど、例えばですねこう、花巻市の中に住民の方、いろんなところで調査、聞き取り調査とかして、いろんな方の意見を聞くとか聞き取り調査をするとか、そういう予定があるという、というのはあるのか、あとは私は一関図書館とかあと紫波図書館が良い図書館だと思ってるんですが、そういうところに視察してちょっと研究したり

見に行ったりというのを、もうしてるのか予定があるのかということをお聞きしたいなと思いました。以上ですはい。

(○生涯学習部長)

はい、聞き取り調査というのは例えばですね市の全体的な計画をつくってる中で、アンケートなどを市民にとったりしております。毎年取ったりして意見を聞いてます。ご指摘のとおり図書館の関心、たくさん持ってもらえてるかということ、なかなか難しいのはあるかなと思ってます。ただ、この前のワークショップにも参加していただいたと思うんですけども、若い方々も自主的にたくさん集まってくれるというか、そういう人たちがいます。そのところはですね、もう少しアピールしろということだと思いますので、検討していきたいと思います。あと、他の図書館、一関とかですね紫波とかもちろん、係の人のお話を聞いたりもしています。状況などですね。他の図書館なども我々もそうですし、議員の皆様様の視察に同行したこともあります。自分たちでも調べたりして、こういう図書館があるよっていう、研究をしておりますので、そのようなところを計画に、活かしていきたいですし、これまでの計画づくりの中でも活かしてきてるといふふうに思っております。

(○参加者1)

わかりました。それでですねやっぱり先ほどと同じような意見ありましたが、やっぱり発信する、例えば図書館の方がブログをつくったりとかあと、何とか発信みたいな紙情報を発信するというのをやったほうがいいと思います。あとは、図書館のビブリオバトルに参加したんですけど石鳥谷でやったんですが、実際に参加者4人だけしかなくて、高校生とか若い方来るのかなと思ったらまったくだったんですね。だからこういう、イベントとかやるのであればもっと発信して、人をたくさん高校生とか若い方方もこう情報周知させて集めてやるような努力が必要じゃないかなと思いました。やるのは素晴らしいことやってるんですが、発信したり、そういうのはちょっと、正直あんまりうまくないとかそういう努力はしてほしいなと思いました。以上です。

(○生涯学習部長)

ありがとうございます。

(○生涯学習課 菊池)

ありがとうございました。続きまして手が挙がっておりましたので、マイクをオンにしてご発言をお願いいたします。

(○参加者6)

はい。私のほうから一つ質問です。私も昨年ワークショップに参加して、ワークショップのそのアンケートを、先ほど32名っていう数として示していただいたんですけども、それと同時に、その頃、図書館で、アンケートを来館者に対してとってたような気がするんです。もっともっと生の声っていうか利用者の声っていうのが集まったのではないかなと思うんですけども、先ほど聞き取りをしてないかっていうふうな質問もありましたけれど、その辺のアンケートの集計とかっていうのはどのようになっているのかなと思ってそのことをお聞きたいです。はい。

(○生涯学習部長)

はい。そうですね、アンケートを毎年花巻図書館でとっておりまして、花巻図書館の運営とかに関するアンケートなんですが、新しい図書館に期待することなどについてもアンケートをとっております。それらの意見も踏まえながら今回の基本計画をつくっていくっていうことを考えております。ちょっと待ってくださいね。今表示できる部分もあります。これはアンケートの一部です。左側は今の図書館を利用する主な目的ですけども、右側が新図書館に期待することは何ですかと聞いたものです。施設に十分なスペースが欲しいというのが1番ですし、蔵書、ユニバーサルデザイン、あとは開館時間とかですね、子ども向けスペース、交通アクセス、という感じの意見をいただいておりますので、こういうのも参考にしながら、新しい図書館に活かしていきたいと思っています。

(○参加者6)

はい、ありがとうございます。

(○生涯学習課 菊池)

はい。それでは、手が挙がっておりましたので、マイクをオンにしてお願いします。

(○参加者2)

あの、最後のほうなんでちょっと全然別の、このいわゆる今日の出席者11人という数、どう見たらいいのかさっきからいろいろ考えてるんですけども、色々なさっき意見もあったんですけど、それは図書館に対する関心がそもそも少ないのか、今は僕はリモートワークとかテレワーク時代にですね、アクセスしようと思えば地球上どこからでもアクセス技術的にはできるものだと思うんですけども、こう数が圧倒的に少ないということは、主催者の方はどういうふうに見るんですかねえ。つまりこの今日の会議を実際に聴取してる人は僅か11人だということで、他の人は今日の会議は全然

聴取出来ないという、ことなんですか。それ、つまりは、若い人はもうテレワークとかですね、何かお手の物だと思っただけでも、そういう人たちの出席がないということは、そもそもはさっきもありましたように若い世代の図書館に対する関心が少ないのか。あるいは高齢世帯が技術的にアクセスが無理なのかですね。結構11人っていう数はこれ驚くべき数字なんじゃないかなと思うんですけど、市川さんどうですか。

(○生涯学習部長)

そうですね、もうちょっと期待してたんですけどやはり初めての試みというか、難しいのかなと思います。今回3回やるわけですけども、これらの今日のご意見なども踏まえて、ホームページに皆さんよろしければ掲載させていただきたいと思います。ご意見はこういうご意見ありましたっていう風に紹介していきたいですし、いろいろ関心を高めてもらえるように、やってみないと駄目だなとは思っておりました。ありがとうございます。

(○生涯学習課 菊池)

よろしいでしょうか。手が挙がっておりましたので、よろしくお願いいたします。

(○参加者 7)

聞こえますでしょうか。今カメラをオンにするをクリックしたんですが、ちょっと反応がないようで、このまま、発言させてもらいますが、参加者が少ないっていうお話がありましたけれども、いろんな人の話聞けるかなと思って今日参加してるんですけども、一人聞きたい人がいまして、あなたにとって、図書館、理想的な図書館というのはどういうものですか。図書館にとって大事な要素なんですかっていうことですね、ぜひお聞きしたい。

(○生涯学習課 菊池)

ご指名ありましたけども、もししゃべれるようであればお願いします。

(○参加者 8)

じゃあすいませんご指名をいただきましたので、ちょっとしゃべらせていただきます。やっぱり何ですかね、図書館というのは生きるために必要なものが詰まっているんじゃないかと思っておりまして、そういうところで使っております。

(○参加者 7)

ありがとうございます。

(○生涯学習課 菊池)

よろしいでしょうか。

(○参加者 7)

今日のところは以上です。

(○生涯学習課 菊池)

だいたいお時間が近くなってまいりましたが、よろしいでしょうか。手が挙がっております。

(○参加者 5)

すいません。最後に一つだけお話しさせてください。先ほどからやっぱりこの参加者とかもやっぱり少ないなという意見もたくさん出てるところではございますその中でですね、新図書館のほうもかなり面積も広がってると思います。もう少しね、広くするにあたってやっぱり人数が呼ばなきゃならないということを感じてるんです、もう少し何か人数を呼ぶ仕掛け、を次までにではないですが、もう少し何か考えられないかなと感じております。これは意見となりますので、私の方からは以上となります。ご検討いただければと思います。

(○生涯学習部長)

人数を呼ぶというのは、この意見交換会に参加する人を、ということですか。

(○参加者 5)

図書館の方ですね、図書館は広がるにあたりまして、この通りですね出席者も11名と少ない現状ではございますし、それぐらい市民の人達興味がないのが、これは現実的な問題だと思います。この中でカフェをつくるのもそうですけれども、もう少し何か工夫が必要だと思うんです。広くするにあたって。経費をかけるにあたって。だからもう少し何かこう人を呼べるような、図書館に来てくるような仕掛けをつくっていただけたら、もっといい図書館にないんじゃないかなと思ひまして、ただの意見でございました。よろしくお願ひいたします。

(○生涯学習部長)

はい、ありがとうございます。

(○生涯学習課 菊池)

ありがとうございました。

はい、それではですね大変貴重なご意見、意見交換ありがとうございました。本日のところは時間となりましたので終了としたいと思います。

はい、皆さま大変ありがとうございました。最後に事務連絡ということで表示をさせていただきます。

皆さまに本日の招待メールをお送りしておりましたが、メールの中にアンケートをご記入いただくためですね、花巻市のホームページに飛びますアンケートフォームのリンクということでお知らせをしております。本日ご参加いただいた感想とか含めてありますのでぜひ、アンケートのご記入をお願いしたいと思います。また、何かお問合せがありましたら生涯学習課の方をお願いしたいと思います。